



湧別町立保育所での取り組み

ピースフルスクール

ピースフルスクールとは

ピースフルスクール（以下、PSP）は、世界一子どもが幸せな国といわれるオランダ発祥。いじめや子どもの問題行動に対する根源的なアプローチとして開発されました。

湧別町では、PSPの日本への導入を行っているクマヒラセキュリティ財団 熊平美香さんのご指導のもと令和元年から湧別認定こども園や芭露保育所で開始され、今年で7年目。年中児から年長児まで全26回のレッスンを、パペットを使った劇で行います。

レッスン内容は、コミュニケーションの基礎力を伸ばすことから、誰かのために動く力を身につけるまで。初めは課題をもらって行っていたレッスンも、最終的には自分たちで話し合い、実行できる主体性が身につきます。

<充実した研修>

保育士は、レッスン後に熊平さんとオンライン学習を行い、レッスンについての指導を受けています。また、年に1回熊平さんが来町した際に、勉強会を実施。保育士が自分自身を見つめなおし、一人ひとりが持つ能力を生かして子どもたちと向き合えるよう、学んでいます。



ピースフルスクールの効果

自立

自分の意見を持ち、相手に伝えることができる

ほめ言葉など、お互いに気持ちのいい言葉を使うことができる



共生

自分やお友達の気持ちを認識し、言葉で伝えることができる

嫌な時には「やめて」と伝え、話し合いで解決することができる

違いを受け入れ、自分と異なる人を排除せずに尊重することができる

協力して遊びや活動を決め、コミュニティに貢献することができる



7年間取り組んだ中で、「話しを聴く」「相手の気持ちを知る」「自分の意見を持って相手に伝える」力が付いたと感じます。年長児のレッスン後期になると、真剣に参加する姿が見られるようになりますよ。

園の生活の中でトラブルがあったとき、レッスンでの学びを生かして解決に導くことができます。

レッスンでの経験が、納得する心へとつながっています。